

日本の空港初！ 支付宝（アリペイ）決済をスタート

9月23日より、関西国際空港において、支付宝（アリペイ）決済が利用開始となります。日本の空港としてアリペイの本格導入は初めてとなり、10月末迄に、ほぼ全店舗^(注)で利用開始となる見込みです。

関西国際空港を利用される訪日中国人のお客様は年々増加しており、新たな決済手段の導入により利便性を高め、空港を利用されるお客様の満足度を高めていきたいと考えています。より一層便利になった関西国際空港のご利用を心よりお待ちしております。

蚂蚁金融服务集团傘下のアリペイ（支付宝 = Alipay）は、2004年に設立された、一人一人のユーザーを中心に、本人認証及び個人信用を基盤とした総合ライフスタイルのプラットフォームです。

設立以来、アリペイはすでに200社以上の金融会社と協力し、一千万以上の中小加盟店に決済サービスを提供しています。導入サービスの種類は日々拡大しているため、沢山のユーザーから信頼と支持をいただいています。現時点で本人認証済のユーザー数は4.5億人を超えています。アリペイは、ほとんどのオンライン決済のシナリオをカバーしているとともに、飲食・スーパー・コンビニ・タクシー・病院・公共サービスなど、様々なリアル決済のシーンにも対応し、中国国内においては80万社以上の加盟店で利用できます。インターネットを活用したマーケティング、ビッグデータサービスを通じて、従来の商業システム及び、公共サービスのレベルアップにも助力しています。

海外マーケットにおいては、アリペイはクロスボーダー決済、免税、対面決済など様々なサービスを展開し、70以上の国と地域、8万社以上の加盟店に導入しています。

こうしたプロダクトの進化及び、利用シーンの増加により、アリペイは決済、生活サービス、行政、社交、資産運用、保険、公益などを全部カバーしている、オープン的なプラットフォームになっています。アリペイは、決済そのものを超え、モバイルインターネット時代の代表的なライフスタイルサービスになっています。

○支付宝（アリペイ）利用可能店舗

9月23日～ 国際線出国エリアの免税・物販8店舗（予定）

9月29日～ 国際線出国エリアを中心に83店舗（予定）

10月下旬～ その他エリアを含む、ほぼ全店舗^(注)（予定）

(注) 一部取扱い対象外となる店舗がございます。



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社 について

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

会社名

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、ヴァンシ・エアポート 40%、その他の出資者 20% (*1)



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である「金融+サービス」の加速化、「アジア等新興国の成長を取り込む」を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



ヴァンシ・エアポートは、フランスで12、ポルトガルで10（リスボンのハブ空港を含む）、カンボジアで3、日本で2、ドミニカで6、そしてチリで1空港の合計34空港の開発および運営を行うグローバル企業です。

ヴァンシ・エアポートが運営する空港ネットワークの2015年の年間利用者数は1億人にのぼり、140社を超える航空会社が就航しています。2015年のヴァンシ・エアポートの年間売上高は8億2000万ユーロ(*2)を記録しています。

ヴァンシ・エアポートは、深い知見と、プロフェッショナルリズムあふれる世界各国の8,500名のスタッフの力を合わせ、その投資力や国際ネットワーク、既存空港のインフラ運営最適化、施設の拡充、新規建設における専門性を生かし、空港の開発、資金調達、建設、および運営を行っています。詳細につきましては、www.vinci-airports.comをご覧ください。

(*1) その他の出資者

株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

(*2) 日本、チリ、ドミニカ共和国の各空港のデータを含まず。